

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和3年10月14日(2021.10.14)

【公開番号】特開2020-36859(P2020-36859A)
【公開日】令和2年3月12日(2020.3.12)
【年通号数】公開・登録公報2020-010
【出願番号】特願2018-166619(P2018-166619)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月3日(2021.9.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

現在の遊技状態が第一遊技状態であるか当該第一遊技状態よりも遊技者に有利な第二遊技状態であるかが把握困難または不可能な不確定モードにて発生する特定演出を実行することが可能な演出実行手段を備え、

前記特定演出は、成功結末または失敗結末に至るものであって、成功結末に至った場合には当否判定結果が当たりとなる蓋然性が高まったことを示唆するものであり、前記特定演出が前記失敗結末に至ったときには、前記不確定モードから、前記第二遊技状態であることが確定する確定モードへの移行が発生する場合があることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記特定演出が成功結末に至った場合には当否判定結果が当たりとなることが確定することを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

発生しうる前記特定演出の態様として、第一演出態様および当該第一演出態様となったときよりも前記成功結末に至る蓋然性が高い第二演出態様が設定されており、

前記第一演出態様の前記特定演出が前記失敗結末に至った場合と、前記第二演出態様の前記特定演出が前記失敗結末に至った場合とでは、前記不確定モードから前記確定モードへの移行が発生する蓋然性が異なることを特徴とする請求項1または請求項2に記載の遊技機。